

わかりやすい 巻末資料

高校の美術で使われるほぼ全ての技法を掲載。
技法のポイントがひと目でわかるように、レイアウトを工夫しています。

吹き出しで ワンポイント アドバイス

各手順のポイントを吹き出しでわかりやすく示しました。

動画で確認

QRコードから技法の手順をわかりやすくまとめた動画を視聴できます。



使う道具をわかりやすく

その技法で使う用具を1点ずつ撮影し、整理して配置しました。



技法資料一覧

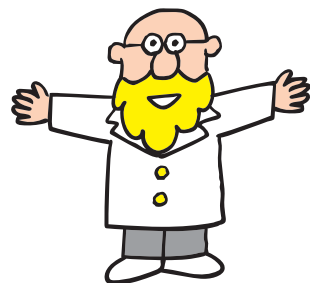
- 鉛筆BOOK (P.81～88)
- 水彩絵の具で描く (P.90～91)
- 油絵の具で描く (P.92～93)
- アクリル絵の具で描く (P.94～95)
- 日本画の絵の具で描く (P.96～97)
- 版画の技法 (P.98～101)
- 彫刻(塑造)の技法 (P.102～103)
- 文字をデザインする (P.104～105)
- 漫画表現の技法 (P.106～107)
- 写真を撮影する (P.108～109)
- 映像を制作する (P.110～111)
- 発想の広げ方 ① (P.112～113)
- 発想の広げ方 ② (P.114～115)

手順が 横一列で わかりやすい!

さらに詳しく

用具の使い方などを、写真を使って詳しく解説しています。

パレットの使い方から
手厚く解説しているよ!



資料

油絵の具で描く

油絵の具は、塗り重ねることで重厚な表現ができる。
基本的な用具の使い方や制作の流れを知ろう。

モチーフ



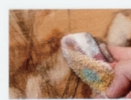
油絵の具で描く
手順を動画で
見てみよう。



下描きの前に、スケッチ
ブックなどにラフスケッチ
をし、どのように画面に収
めるか、構図を検討する。



刷毛を使っておおまかに
明暗をつけていく。揮発
性油は、下塗り以降は他
の油と混ぜて使う。



濃く塗りすぎたときや、濃
淡をつけたいときは布に
揮発性油をつけ、拭き取
るようにして色を抜く。



① 下描き

キャンヴァスに木炭で下描きをする。大きさやバランスを確
かめながら輪郭を決め、細部はあまり描き込まずに明暗を分
ける意識で描く。最後に定着スプレーを吹きかける。



② 薄く溶いた絵の具で下塗りする

揮発性油で茶系の絵の具を薄く溶き、絵の具の濃淡で形や
明暗を捉える。下塗りの上に絵の具を重ねると、色に深みが
出る。



主に使用する用具

① キャンヴァス ② パレットと油壺 ③ 油絵の具 ④ 練
りゴム ⑤ テレピン(揮発性油) ⑥ リンシードオイル(乾
性油) ⑦ ペインティングオイル 揮発性油や乾性油など
を調合したもの。全工程で使うことができる。⑧ 筆洗
⑨ 筆洗油 ⑩ 刷毛 ⑪ 木炭 ⑫ 筆(平筆、丸筆) ⑬ パ
レットナイフ ⑭ ペインティングナイフ ⑮ 定着スプレー



リンゴなどのモチーフは、
筆に絵の具をたっぷりつ
け、キャンヴァスに色を置
く感覚で塗っていく。



平面的に描きたい机やれ
んがなどは平筆を使う。
キャンヴァスに筆を押しつ
けるようにして塗っていく。



乾いた絵の具の上から薄
く溶いた絵の具を重ね、
光沢や深みを出す。この
手法をグレースとよぶ。



③ モチーフに色をつける

明度や彩度が高いモチーフから色を塗り始める。溶き油は少
なめに、絵の具をたっぷり使って描く。モチーフの質感に
合わせて筆のタッチを変える。

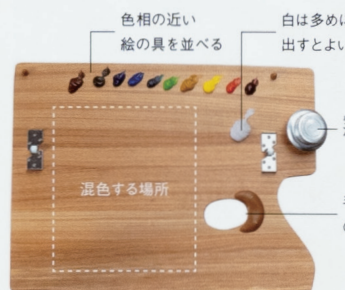


④ 色を重ね、細部を描く

全体を見ながら色を重ねる。手前のモチーフに絵の具を重ね
たり、奥のモチーフの彩度を下げたりして、奥行きを表現する。

パレットの使い方

絵の具は使う予定の色だけを出すのではなく、さまざまな色相の絵の具を並べる。
混色などの作業を想定して、多めに出すようにするとよい。



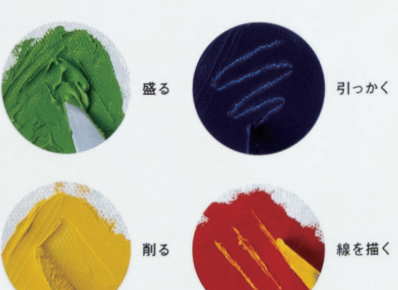
パレットの使い方の例



混色は中央のスペースで行う。色
が濁るので、混ぜる絵の具は2～3
色にとどめておくこと。

ペインティングナイフの使い方

ペインティングナイフを使うと、
筆では表せない質感をつくることができる。



用具の片づけ方

油絵の具はしばらく空気に触れる
と硬化するので、制作後はきれいに
洗っておく。



筆は、布やペーパーなどで拭き取った
後、筆洗油に入れ、残った絵の具をよく
落とす。最後に石けんで根元の絵の具
を押し出すように洗い、水ですすぐ。



パレットは、ナイフなどで残った絵の具
を削り取り、筆洗油を浸した布やペー
パーなどでべたつきがなくなるまで拭
き上げる。



⑤ 完成

白でハイライトを整えて完成。制作は2日間、乾燥させる時
間を除き約10時間。45.5×53cmのキャンヴァスに描いた。

片づけ方も 動画で確認



高校で初めて油絵の具
を扱う生徒のために、
片づけ方も動画で詳し
く解説しています。

パレットの片づけ方

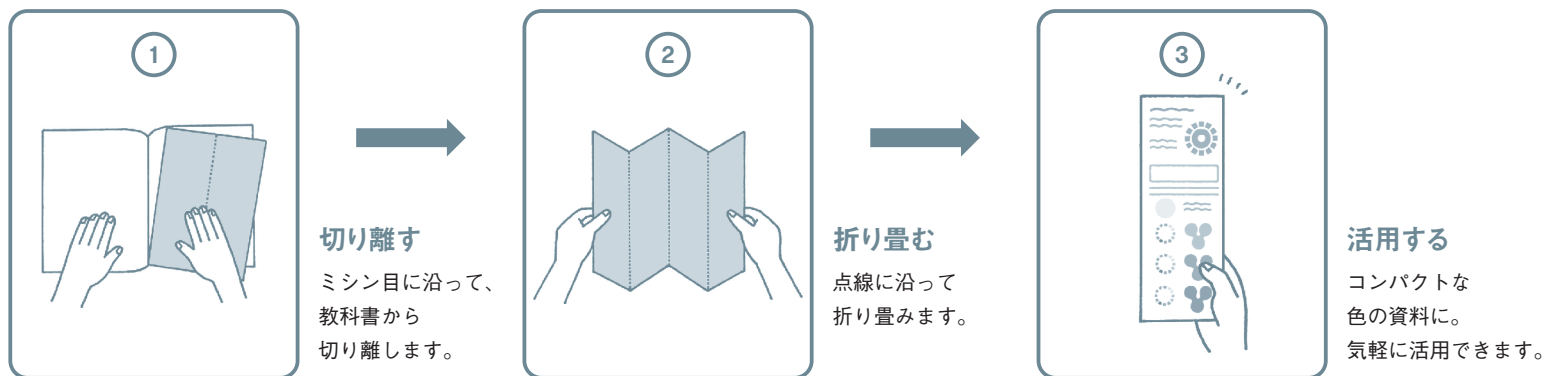


ナイフなどで
残った絵の具を削り取る

切り離し式「混色のヒント&トーン別カラーガイド」

新版教科書では、表現・鑑賞どちらにも活用できる、色の資料が充実しています。

巻末には切り離し式資料も用意しました。



表面 絵の具の混色に

色相環を意識して、どのような色になるか考える資料です。

折り畳むと、絵の具セットと一緒に保管できます。



色の資料は
14
ページ!

色が見える仕組みから、
日本と世界の伝統色まで、
さまざまな色のトピックを
扱っているよ！

- **色の仕組み** (P.118～119)
- **色を分類する** (P.120～121)
- **色の効果** (P.122～123)
- **さまざまな配色** (P.124～125)
- **日本と世界の伝統色** (P.126～127)
- **混色のヒント**(切り離し式)
- **トーン別カラーガイド**(切り離し式)



P.120 「色を分類する」



裏面 デジタルでの制作に

CMYK 値、RGB 値、HTML カラーコードを示しました。

デジタルで制作するときに便利な資料です。

